

様式 2		令和 4 年度 宇陀市立大宇陀中学校 自己評価書 (学校経営)					
大項目	中項目	小項目	評価指標	評価	成果と課題	課題の改善方策等	
Ⅱ 学 校 経 営 に 関 する もの	(1) 組織運営	①学校経営目標・方針	・学校経営目標の明確化	・明確な学校目標や経営方針を示したか。	A	<p>○生徒に向けては折に触れ示し、保護者に向けては学校だよりへの記載で周知したが、保護者アンケートの結果では「教育目標を知っている」という肯定的回答は55%であった。</p> <p>○本年度の重点課題について、繰り返し周知した。</p> <p>○働き方改革を含め業務改善については課題である。ノー残業デーや学校閉庁日を設定しているが100%の実施率とはなっていない。部活動休養日の徹底については浸透している。校務分掌については、より実効的な形に整えていく必要がある。</p> <p>○学力向上部会は「授業力向上をめざした取組」を計画的に開催した。自主活動部会については生徒会を中心とした活動となっており、定期的な開催は行っていない。</p> <p>○生徒指導部会は年間26回開催でき、学年間の生徒の情報共有が定期的に行われた。人権教育部会については不定期な開催であった。</p>	<p>○校務分掌の見直し及び学級編制の見直しなどにより、仕事量の軽減を図り働き方改革につなぐ</p> <p>○校務分掌を見直し、活動が滞っている部会については精選すると共に各分掌が活性化するように検討を行う。</p> <p>○人権教育部会についての定期的な開催を促す。</p>
			・学校経営の方針を教職員に周知したか。	A			
		②校務分掌等の連携	・校務分掌の適正化	・仕事量や業務の関連を考慮した校務分掌とすることができたか。	B		
			・教職員の適正配置と運営への参加意識	・教職員の経験や能力、特性を考慮した分掌配置となっていたか	A		
		③会議の運営	・2部会の活性化	・2部会を学期に1回行うことができたか。	B		
	・各種会議の設定と定例化		・各委員会を定期的に開催できたか。	B			
	(2) 危機管理	①危機管理体制の整備	・危機管理マニュアルの徹底	・研修を持ち、危機管理マニュアルの共通理解ができたか。	B	<p>○研修はもてななかったが、不審者事案に対しては、実際の情報をもとにしたシミュレーションを行うことができた。</p> <p>○生徒からの声をもとに、制服の検討や、冬期の防寒着についての改善を図った。</p> <p>○緊急警報装置を活用した訓練を7月に、また、地震速報からの火災避難の訓練を11月に実施した。</p> <p>○雨天時の生活における注意喚起や、新型コロナウイルスへの対応及び熱中症等への対応について、先を見据えた啓発を行った。</p> <p>○保護者へのアンケートでは行事等について、「学校からの配信メールが役に立った」という回答が96%であったが、知らせが遅いという声も数件受けた。</p> <p>○春の学校周辺での不審者情報を受けて、警察や教育委員会などと連携して対応を行うことができた。</p>	<p>○マニュアルに則った研修を行う。</p> <p>○配信のタイミングについての共通理解を図る。</p>
			・生徒指導体制の構築	・生徒指導マニュアルの見直しを行い、改善できたか。	A		
		②安全指導の徹底	・全校体制での取組の実施	・避難訓練を複数回行えたか。	A		
			・日常的な取組の実施	・日常的に安全意識を高めるよう取り組んだか。	A		
		③家庭や関係機関との連携	・家庭との連携	・メール配信を活用すると共に、育友会と連携し、意見を取組に繋ぎできたか。	B		
			・関係機関との連携	・関係機関との連携を強化することができたか。	A		
	(3) 保健管理	①保健指導	・学校保健安全計画の立案	・学校保健安全計画は適切に作成されているか	A	<p>○作成されている。</p> <p>○新型コロナウイルスへの対応や、熱中症対応など、初期対応を重視し、家庭と連携しながら対応できた。</p> <p>○教育相談担当を中心にSCやSSWとの連携を密に行うとともにスクリーニング会議を開催し、関係機関との連携も含めてきめ細かく指導に当たった。</p> <p>○開催できなかった。</p>	<p>○実施をめざす。</p>
			・保健指導の充実	・生徒の健康状態や心身の課題に応じた指導ができたか。	A		
		②心のケアや健康相談体制の整備	・学校カウンセラーの活用	・カウンセラーと連携して生徒の指導にあたったか。	A		
			・健康相談活動の充実	・養護教諭を中心とした健康相談活動を進めたか	A		
		③関係機関との連携	・学校保健委員会の開催	・関係機関と連携し、学校保健委員会を開催出来たか。	B		
	(4) 保護者・地域との連携	①学校情報の発信	・Webページの活用	・学校行事や学校からの情報をwebページを通じて、積極的に発信できたか。	B	<p>○年度当初は保護者案内等を学校HPに掲載できていたが、PCの入れ替え後、更新が滞った。</p> <p>○積極的に活用した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、本年度のオープンスクールを実施した。</p> <p>○1学期に参観、2学期にオープンスクールを新型コロナウイルス感染対策をとりながら実施した。</p> <p>○街並みガイドボランティア活動、花いっぱい運動、着付け教室、福祉体験、職場体験、乳児とのふれあい教室などを実施した。</p> <p>○教育活動において地域の方の協力を頂いている。</p> <p>○地域では宇陀松山華小路などの活動などに関わる生徒もいた。</p> <p>○次年度の入学生に開いて、小学校との連携はできた。こども園との連携については、2年ぶりに職場体験を行うことができた。</p> <p>○「花いっぱい運動」で高校にプランターを届けことができたが、それ以外の取組はできていない。</p> <p>○各学期に1回開催できた。</p>	<p>○定期的な更新及び積極的な情報発信に努める。</p> <p>○次年度、がん教育において小中高で連携した取組を行う。</p>
			・情報発信システムの活用	・メール発信システムを活用して、保護者への情報提供を効果的に行ったか。	A		
		②学校(授業)公開	・オープンスクールの活性化	・オープンスクールの実施方法を工夫することができたか。	A		
・授業参観の実施			・授業参観を毎学期実施できたか。	A			
③家庭・地域との連携		・保護者・地域住民の学校教育への参加	・保護者や地域の力を学校教育に生かす機会がとれたか。	A			
		・校務分掌に地域コミュニティの組織を設け、計画的な取組ができたか。	A				
		・生徒の地域活動への参加	・生徒が主体的に取り組む地域貢献活動ができたか。	A			
④校種間連携		・異年齢間交流	・保・幼・小と連携した取組ができたか。	A			
		・高等学校との連携	・高等学校と連携した取組が継続・発展できたか。	B			
⑤学校評議員の活用		・学校評議員会の開催	・学校評議員会を定期的に開催できたか。	A			
(5) 教育環境整備	①施設設備の有効活用	・特別教室の有効活用	・特別教室を授業以外でも活用することができたか。	A	<p>○合同授業や学年行事等で積極的に活用できた。</p> <p>○体育館の開放を積極的に行った。</p> <p>○コロナ予算等を活用し、整備を進めることができた。</p> <p>○コロナ禍により、図書室の利用はないが、図書委員の活動として、定期的に学級の本の入れ替えが行われている。</p>		
		・学校施設の有効活用	・地域への施設開放を積極的に行ったか。	A			
	②教材・教具の整備	・教材・教具の整備・活用状況	・必要な教材・教具を計画的に整備できたか。	A			
		・図書・副読本等の整備・活用状況	・図書室の本や副読本(ななかま、なかまともに)を活用したか。	A			